

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	やっぱり、すごいね木曾漆器!! 魅力再発見事業
事業主体 (連絡先)	木曾平沢区自治協議会 木曾平沢区長 石本 幸一郎
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,781,001円 (うち支援金: 2,216,000円)

事業内容

- 1、木曾漆器ワークショップ
全年齢層を対象に、6月の木曾漆器祭と夏休み期間中、10月の秋の漆器祭にて塗り箸絵付け体験のワークショップを実施した。
- 2、工房（重要伝統的建造物群）見学
6月の木曾漆器祭と10月の秋の漆器祭にて実施。木曾漆器の作り手との対話や、重要伝統的建造物群案内の機会を作った。
- 3、木曾漆器テーブルウェア展示
6月の木曾漆器祭と10月の秋の漆器祭、2月に長野銀行塩尻支店にて実施。木曾漆器を現代の暮らしの中でどう活用するかが分かるように見本空間を展示した。
- 4、イベントPR用のぼり旗作成
年間を通じた地域のブランド告知のためのぼり旗を作成し設置した。
- 5、イベントPR広報
6月の木曾漆器祭にて、SBCラジオ番組内で木曾漆器の魅力を発信した。

(活動写真)



【工房見学】

【目標・ねらい】

- ① 地域を担う子供にはキャリア教育として、地元の大人の方々にはあらためて、木曾漆器の魅力を発見して頂く。
- ② 観光客には木曾漆器の魅力を新たに感じてもらい、再来訪の機会を拡大したい。
- ③ 木曾漆器祭50回という節目の年なので、今後への飛躍の年としたい。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 1、子供から大人まで延べ90名の参加者があり、木曾漆器への関心・知識を深められた。
- 2、観光客を含め延べ1,000名の参加者があり、作り手との対話や建物の見学を通して漆器や木曾平沢の魅力を発信できた。
- 3、6月・10月で延べ260名が来場し、生活の中でどう漆器を使うか具体的に見て頂いた。展示で使った漆器についても問い合わせが多く、漆器活用の幅を広げられた。
- 4、漆器祭開催の告知や交通誘導などに活用できた。
- 5、漆器祭当日の番組生中継により漆器の魅力を全県に発信できた。

※自己評価 【A】

【理由】

昨年度実施の1・2事業については規模や回数を増やし実施でき、参加者は想定を上回るものだった。新規事業である3～5事業についても、木曾漆器の魅力を再発見してもらう目的を果たせた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

事業1・2については、少しずつ定着してきており、今後も継続していきたい。

事業3について、より多くの人々が漆器に触れる機会を持てるよう、開催場所に変化を持たせながら実施していきたい。新たに作成したのぼり旗やラジオ番組でのイベント紹介も好評だったため、露出媒体を変更・増加しながらイベントをより知ってもらう機会を提供したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある